

要 請 書

防衛省中国四国防衛局長 赤瀬 正洋 殿

日頃は、我が国の平和と国民の安全のために、御尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

これまで本県では、本県上空で米軍機による低空飛行訓練が実施されないよう、国に対し、繰り返し要請してきたところであります。

そうした中、本県南部及び西部において、米軍機と見られる航空機の低空飛行訓練の目撃情報が、本年４月以降大幅に増加しており、中には、公共施設や民家が密集する市街地で目撃されるなど、周辺の住民は、その轟音に強い不安や懸念を抱いているところです。

また、昨年１２月には、高知県室戸岬沖での米軍機墜落事故が発生するとともに、本県の徳島阿波おどり空港にオスプレイが離着陸するなど、突然飛来する米軍機は安全を大きく脅かすものであり、県民の不安の声が高まっています。

以上のことから、県民の安全・安心を確保するため、下記について、改めて強く要望いたします。

- 1 本県上空で、住民に不安や懸念を抱かせるような米軍機の低空飛行訓練が実施されないよう対処すること
- 2 事前に可能な限り詳細な飛行訓練に関する情報を把握し、時間的余裕を持って提供すること
- 3 米軍機による騒音の実態を十分に把握するため、国において、中国地方で騒音測定装置を設置したことと同様に、いわゆるオレンジルート上に位置する本県においても、騒音測定装置を設置すること

令和元年６月７日

徳島県経営戦略部長 久山 淳爾